

金型・成形のノウハウを生かした温度制御技術

納期相談
オンライン技術
メイドインジャパン



温度コントローラーと前川修一取締役電気事業部長

業務内容

トライアック搭載で
きめ細かく制御

プラスチック射出成形用金型に装着して使用する温度制御コントローラーの開発、製造、販売を手がける。創業以来、60年以上もプラスチック金型の製造・販売や成形に携わってきたノウハウを生かし、高品質で耐久性の高いコントローラーを供給している。これまでのコントローラーはSSR（ソリッドステート・リレー）素子によるオン・オフ制御が一般的だったが、主力製品の「MT1000S」は、トライアック素子を採用。キメ細かな制御を可能にした。このほか、バルブピンを駆動させるバルブゲート用のタイマーコントローラーなど関連製品も投入している。



温度コントローラー

強み

メンテナンスもたやすく

長年にわたる金型、成形のノウハウは大きい。コントローラーの心臓部であるメーターは、専業メーカーの神港テクノス（株）（大阪府箕面市）と共同で開発した。ノウハウが詰まっているだけでなく、メンテナンスもドライバー一本で可能なので大手顧客を中心に実績を伸ばしていった。国内だけでなく顧客の生産拠点の海外移転にも対応しやすい。製品の信頼性は高く、「顧客は増えているが、これまでメンテナンスの要請はほとんどなかった」と前川克行社長は自信をのぞかせる。コントローラーを手がける「電気事業部」を

立ち上げたのは平成24年9月だが、短時間で黒字化することができた。

人材育成

自前の技術者育成

温度コントローラーの事業に乗り出したのは事業譲渡がきっかけで、もともと社内に技術シーズはなかった。そこで外部とのネットワークを生かしてメーターを開発し、ものづくりについても精密板金メーカーと組むことで使い勝手の良い製品が完成した。次のステップとして前川社長は「日本はやはり技術立国。自前の技術者を育てたい」と語気を強める。「新生マエガワモールド」を目指して平成27年に2名を採用。金型のメンテナンスを手がける子会社でも1名採用した。OJT中心ながら教育を強化しており、「失った時間は取り戻せないぞ!」と、叱咤激励している。

今後の展望

中身の濃い会社に

ニッチな業種なので国内では急成長する市場ではないと判断している。しかし世界に目を転じればまだ開拓の余地は十分あると見ており「わが社のコントローラーで世界に打って出たい」と前川社長は期待する。海外の各種規格についての研究を始めており、CEマークの取得なども検討する。その前提として、まず国内の販売ルートを整備するとともに、コントローラー周辺のニーズを吸い上げ、新製品開発に反映させる。また採用した技術者を早期に戦力化させ、技術力を確実にアップさせる。「規模は小さくてもエキスパートをそろえ、中身の濃い会社になりたい」考えた。

大阪 27

COMPANY PROFILE

株式会社 マエガワモールド

当社の歴史

昭和27年からプラスチック射出成形金型の製造を始め、大手電機メーカーなどと長年取引してきました。約10年前からは自動車部品メーカーとの取引も始まり、技術を磨いてきました。顧客の海外移転に伴い金型の製造からは撤退しましたが、長年の経験を生かして電気事業部を立ち上げ、新たな顧客を開拓しています。

わずかな温度変化に素速く対応するため、
高速・高精度の温度制御技術を得意としています。

代表取締役社長 前川 克行さん



■主な事業内容

射出成形用金型ホットランナー用温度コントローラーの開発・製造・販売

■主な取引先（納入先）

自動車メーカー、自動車部品メーカー、家電部品メーカー

住所 / 〒563-0035

池田市豊島南
2-4-29

TEL / 072-761-1155

FAX / 072-761-1156

創業 / 昭和27年1月

設立 / 昭和36年7月

資本金 / 8,000万円

従業員 / 5名

<http://www.maegawapmc.com>